



JAPAN MONKEY CENTRE

FAX COVER LETTER

公益財団法人

日本モンキーセンター

送信先 報道各位

送信枚数 本紙を含めて 3枚

送信日 2014年 12月 5日

大型類人猿の脱出を想定した 対応訓練を実施します。

本格的な冬がやってきました。皆さまお元気でお過ごしのことと拝察いたします。

さて、日本モンキーセンターでは今年も大型類人猿脱出時対策訓練を実施いたしますので、お知らせいたします。実施日は 12月8日(月)です。

東海地方を中心に大きな地震が発生することが予測されています。また火災、集中豪雨など様々な自然災害を前に、人間の無力さを実感せざるを得ない出来事も少なくありません。日本モンキーセンターの飼育施設は十分な強度がありますが、万が一のことを考え、大型類人猿(ゴリラ、チンパンジー等の仲間)の脱出を想定した脱出時対策訓練を毎年実施しています。

日本モンキーセンターは、飼育中のゴリラを人為的ミスにより脱走させ、入園者に怪我を負わせてしまった悲しい過去があります。このような事故を二度と起こさないため、私たちは毎年2回の訓練に真剣に取り組んでおります。

1回はある程度の想定を元に、ほぼ全職員が参加して実施する「総合訓練」です。もう1回は計画担当者1名以外、想定はもちろん日程も時間も知らされず、突然実施する「招集訓練」です。休みの職員は携帯電話などでモンキーセンター到着までの時間を報告するなどして、よりリアルなデータを収集し、万が一に備えます。

今回の訓練は「総合訓練」になります。総合訓練では30名以上の職員が参加し、避難誘導、救護、捕獲や連絡など、それぞれの役目に応じて訓練に参加、問題点の洗い出しなどを行います。捕獲にはサスマタ、捕獲ネット、催涙スプレー、麻酔銃などを用います。（※麻酔銃は法律により模擬銃を使用します。）

実施日：平成26年12月8日（月） 雨天決行

時 間：13:00～13:40

参加者：動物園全職員（約30名）

想 定：アフリカセンターよりニシローランドゴリラ（体重約150kg）が逃走。捕獲班、誘導班、救護班等に分かれニシゴリラの捕獲とお客様の誘導、救護をおこなう。

※脱出したゴリラ役（飼育スタッフ）がどのような行動をとるか、基本的にはシナリオはありません。開始と終了の時間はおおよそ設定し、逃走経路や反撃の程度はゴリラ役の職員に一任します。

※ゴリラの握力は800kg以上とも言われます。訓練では、ゴリラに接触したスタッフは「負傷」したことになり、救護班による搬送、救護をおこないます。

※誘導班は、ゴリラの動きを把握しながら、入園者役のスタッフを安全な場所まで誘導します。

※昨年までと異なり、捕獲場所は決まっていません。

本件に関するお問い合わせは以下へお願いいたします。

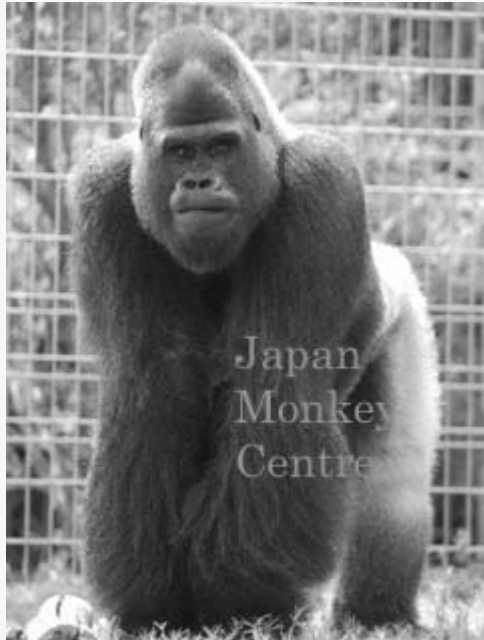
〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林26 公益財団法人日本モンキーセンター

TEL：0568-61-2327 FAX：0568-62-6823 メール：info@j-monkey.jp

担当：園長 伊谷原一、学術部 高野智、赤見理恵、大橋岳、新宅勇太

【資料:ニシローランドゴリラについて】

ニシローランドゴリラ



英名 Western Lowland Gorilla

学名 *Gorilla gorilla gorilla*

CITES I

IUCN CR

分布



ナイジェリアからコンゴにかけてのアフリカ大陸西部

会える場所

アフリカセンター

- 現生では最大の霊長類。
- 性差が大きく、オスは大きいもので体重 200kg を超えるものもいるが、メスは 100kg を超えることはない。
- オトナのオスは背中の中節の体毛が白くなり、シルバーバックと呼ばれる。
- 1頭のシルバーバックと複数のメスとその子供によるハーレム型の集団をつくる。大きな群れでは複数のシルバーバックが存在することもある。
- 果実や草、葉、つるなどを主に食べる。
- 地上では、手の指の中節の背側を地面につけるナックル歩行で移動する。大きな体だが、実は木登りも得意。